

【県民大会に参加しました!!】

10/25、10/26 の両日、船橋市で県民スポーツ大会（略して「県民大会」）が開催されました。今年も市川市からは、男女各代表チームが参加しました。結果は、既に県協会ホームページにアップされていますが、この N 通信では当日のNチーム並びに応援団を含めた周りの方々の活躍も踏まえつつ、お伝えできればと思います。

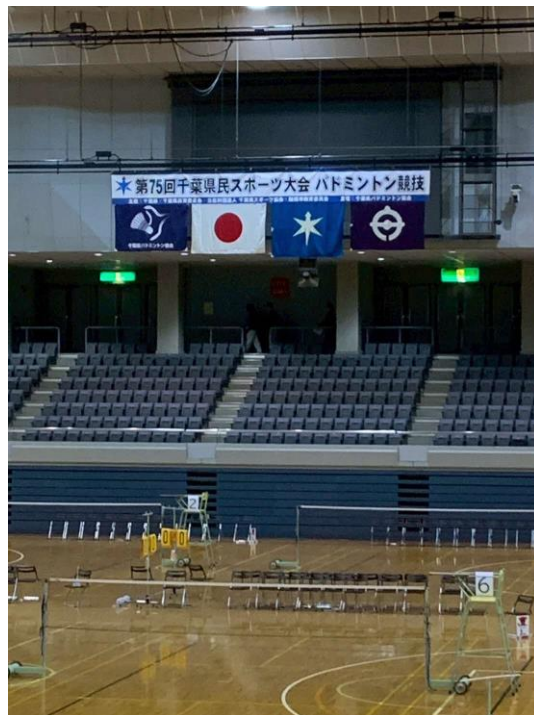
なお、今年の会場は船橋市ということで、市川市のお隣、来場しやすい環境にて、とても助かりました。

初日は男女ともベスト8 決めまで行います。昨年度の市川市チームの成績は、男女ともベスト8。まずは初日を勝って、翌日の準々決勝へ進むことが大切です。

（市川市は、男女とも2回戦からの出場）



〔早めに来場、応援団の場所取りです♪〕





〔天候不良にも関わらず、理事を始め、応援団も駆けつけました！〕

(Dはダブルス、Sがシングル)

女子

初日の女子の対戦相手は、「山武郡市」です。お互い、2回戦からの登場です。

【対山武郡市（2回戦）】

1 Dは、長野・大澤組。普段は組むことのない急造ペアですが、ともに女子Nチームの中では実力十分。スムーズなローテーションと、安定感のあるレシーブで上回る市川市ペア。攻守ともに安定しており、2－0で快勝でした。



〔長野・大澤組、勝利!!〕

続くSは、波多野選手。昨年度から県民大会に出ており、実はシングルスも上達しています。今後の市川市を背負うことのできる、いわば期待のホープです。経験値を積んできていることもあり、落ち着いた試合運びと安定した球回りで、2－0で勝利。男子同様、ベスト8を決めました。

【R7.10.31】



初日は2Dも行います。2Dには、村上・美濃組が登場。村上選手は、県民大会の出場歴多数ですが、美濃選手は県民大会のデビュー戦。あの!?美濃さんの娘さんが、親御さんに引き続き、県民大会に参戦です。ただ、大舞台には十分慣れていますので、大きな会場の雰囲気にも負けず、しっかり勝ち切ってくれました。

女子の初日は3-0で、翌日の準々決勝へ順当に駒を進めることが出来ました。



〔少々遠景ですが、2D
(左側)の活躍です!!〕

【対市原市（準々決勝）】

2日目の対戦相手は、「市原市」。東京情報大OGを多数擁し優勝候補でもある、第2シードとの対戦となりました。

オーダーは、昨日と同様での挑戦。1Dに長野・大澤組の出場です。1Dを取らなければ非常に厳しくなる市川市としては、オーダーを崩すことなく、王道の勝負を挑みました。対する市原市は、攻撃力と守備力の高さが非常に光る強者ペア。試合の序盤から、一進一退の質の高い試合が展開されました。結果は、やはり攻撃力とレシー

ブで市原市ペアが上回り、残念ながら0-2で敗退。

続くSには、昨日の波多野選手に代わり、菊池選手の登場。シングルスでの起用は
いわば想定外でしたが、試合が進むにつれ動きが良くなるとともに、スマッシュが随
所に決まり、手に汗握る大接戦となります。1ゲームは取られたものの、2ゲームは
勢いを取り戻し、勝負の行方はファイナルへ。ファイナルゲームでも勢いは落ちるこ
となく、大きくリードを保ってのチェンジエンド。そのままの流れで勝ち切れるか...
と思ったところ、相手が“ゾーン”に入り、一気に同点。それからは、まさにお互い
に1点ずつの取り合いとなった結果、あと一歩のところ、19-21で相手選手に軍配
が上がり、1-2での敗退。ですが、大健闘!!間違いなく本大会のMVPでした★

これでチームとしては、0-2で敗退が決定。2Dには、昨日に引き続き、村上・
美濃組の出場を予定していましたが、出番の前に勝敗が決しました。

チームとしての結果は、0-2で敗退。昨年に引き続き、惜しくもベスト8で終了
しました。

なお、その後、市原市は優勝しましたので、この試合に勝っていれば～という「た
られば」も想像してしまいました...



〔まもなく試合開始☆〕



〔奮闘!!〕





〔Fight!! 菊池選手〕



男子

初日の対戦相手は、1回戦で浦安市を破った「柏市」でした。

【対柏市（2回戦）】



〔男子もいよいよ
試合開始です!!〕

2D1S形式の団体戦では、Sに強者がいると圧倒的に有利となります。それは、Dの組み換えが可能となるからです。柏市には絶対的なS選手がいますので、市川市としては、まずは1Dを勝つことがチームが勝つための絶対条件となります。

そこで、1Dには、平田・八巻組を起用。共に「凌」。2人ともBC千葉の所属でもあり、コンビネーションも滑らかです、特に、八巻選手の角度とスピードのある攻撃は、シャトルの飛ばない本大会でも非常に有効でした。また、それに呼応するように、平田選手の球回しが光ります。安心して見ていただける2人のプレーは、終始リードし

続ける試合運びで、2-0で快勝でした。



〔2-0で快勝。次に繋がります。〕

続くSは、今年度よりNチームの一員となり、成長著しい石黒選手。相手は、柏市の



のシングルエース。スピード感溢れ、かつ攻撃力も高いプレーに石黒選手も必死に食い下がります。

が、シングルプレーヤーとシ質では、相手が一歩上。最終的ストレート負けはしましたが、最後まで粘り強く戦う姿勢は、今後の伸び代を予感させるに十分でした。

そして、決戦の舞台は2Dへと引き継がれました。2D勝負は、市川市もですが、柏市としても想定通りのプラン。ここで柏市の2Dには、満を持してエースペアが登場します。

市川市の2Dは、折原・村上組。若さ溢れるプレーの2人に対し、柏市のシニアペアは巧みな配球と、堅いレシーブが持ち味です。

折原・村上組のジャンピングスマッシュが決まる一方で、強烈なカウンターや的確なロングリターンも決められる、まさに一進一退の攻防となります。序盤から、攻守に高いレベルのプレーが展開されるとともに、勝った方が翌日の準々決勝に進めるということで、応援団の声援にも一段と熱が入り、手に汗握る試合展開となりました。

結果、0-2の敗退で非常に惜しい試合でしたが、とても素晴らしい試合でした!!

【R7.10.31】



チームとしての結果は、0-2で敗退。残念ながら、昨年のベスト8から一步後退し、ベスト16で終了しました。

[激戦!! 折原・村上組]

最終結果は、男子がベスト16、女子はベスト8でした。また、男子の優勝は野田市で連覇、女子は市原市でした。

また、前回の成績と比較し、男子は一步後退と、残念な結果に終わりました。やはり、ベスト8の壁は高く、特に団体戦では、Sに強い選手がいる場合、オーダーに余裕が出るので、その点の優位さを感じました。

一方で、強いチームは、攻撃力は勿論のこと、非常にレシーブが堅いことも印象的でした。今大会は、外気温の影響もありシャトルが飛ばない傾向にあり、そういった中でも勝ち切る力を持つことが必要だとも痛感しました。

なお、今年度も、協会の千葉理事の旗の下、応援団を結成していただき、天候不順にも関わらず、2日間、多くの方に応援していただきました。声援は、選手には大きな力となりました。本当に有難うございました。

応援団が来場し盛り上げている市川市の姿に、最初は戸惑う選手もいましたが、今では意気を感じて、一生懸命頑張る選手の姿が当たり前になってきました。こういった風景が、今後も市川市の『伝統』として定着していけばいいなと、改めて感じた次第です。

残念な結果もありましたが、菊池選手のSの奮闘や一致団結した応援団の声援等、非常に嬉しい出来事も沢山ありました。

今後も、年末に松戸市で開催される「アザレア杯（ミックス団体戦）」、令和8年に予定する「市川 Special 大会」「郡市リーグ大会」で良い成績が残せるよう、チーム一丸となって頑張っていきます。

特に、「市川 Special 大会」は、市川市協会主催により塩浜体育館にて開催されます。県内各市等の代表チームが集い、さながら「ミニ県民大会」のレベルでの試合が繰り広げられます。地元・市川市で県トップレベルの試合を観ることが出来ますので、市川市チームの応援がてら、ぜひ観戦にお越しください!!

—今後とも引き続き、ご声援の程、宜しくお願いいたします—



〔初日の試合終わりに、健闘をたたえて〕

〔文責：強化担当理事 杉町〕